

第3回 知立市まちづくり委員会 議事録

開催日時	令和3年6月8日(火) 18:30～19:50	
開催場所	中央公民館2階中会議室	
出席者	石原・伊藤・楠・服部・阪野	
欠席者	杉山	
今回の議題	「やりたいテーマ」に対する課題抽出	
会議資料	課題抽出マトリックスシート	
会議概要	各テーマの課題説明及び質疑応答	1. これまでの話し合いの中で、各委員から挙げられた「令和3年度まちづくり委員会」の取り組みテーマ候補は以下の10項目 ①かきつばたの保存活動 ・伝統あるかきつばたを後世に残す ②マルシェの開催 ・知立市民が希望通りに出店できるマルシェの開催 ③知立伝統遺産の周知活動 ・知立伝統遺産に関する新たなPR ④まちづくり委員会のあるべき姿の構築 ・まちづくり条例にあるような委員会実現のための提言 ⑤地域未来塾のようなシステムの構築 ・誰ひとり取り残さない子育てのサポート体制を作る ⑥地域公民館を活用しての音楽イベントツアー ・在宅高齢者を含めた一般市民の新たな楽しみ機会の創出 ⑦市民まちづくりフェスの開催 ・市内外の住民交流と市内ボランティア団体のPR及び駅前活性化 ⑧子どもたちの学び合い教室 ・子どもをひとりにさせず市民で学習などを見守る居場所作り ⑨地域の〇〇達人登録 ・市民同士、得意な分野で教え合う関係を作り一元化して登録する ⑩近隣の市民ボランティア団体との交流会 ・ボランティア活動団体と交流し、情報を得て参考にする 2. 各テーマに対する課題報告と質疑応答 会議3週間前に各自の立案テーマに対し、「人(運営)、物(道具立て)、金(予算)、場所、継続性、市民への影響度」等の項目について課題の抽出を行っておいたので、それについての説明及び質疑応答を実施した。 ①かきつばたの保存活動 【課題抽出】 ・提出なし→発案者がテーマの取り下げを申し出た。 (理由:提案者による実現困難との判断) 【質疑応答】 ・なし ②マルシェの開催 【課題抽出】 ・発案者欠席のため、説明なし。 【質疑応答】 ・なし ③知立伝統遺産の周知活動

【課題抽出】

- ・発案委員の課題抽出の意味の取り違いにより議論出来ず。

【質疑応答】

- ・なし

④まちづくり委員会のあるべき姿の構築

【課題抽出】

- ・発案委員が途中出席だったこともあり十分な説明を受ける時間がなく議論に至らず。

【質疑応答】

- ・なし

⑤地域未来塾のようなシステムの構築

【課題抽出】

- ・発案委員より各課題についての説明が行われ、出席委員は実情（悩みどころ）を理解した。
- ・特に「人」（教育支援側）についてのハードルの高さを再認識した。

【質疑応答】

Q)

- ・人集め(学校教育の補完なら経験者?)については委員会テーマとしては相当ハードルが高いのでは?
- ・対応の難しい子ども(情緒面)への教育は難しいか?

A)

行政と共同で行う自治体と、NPOや全くのボランティアで実施している自治体など形態は様々で、それによって公募の仕方は変わってくると思われるが、基本的には教員資格のあるもの、メンタルケアのできる専門家がいると好ましい。

教員免許はなくとも塾講師経験者や、学童保育所就労経験など、幅広く人材を求める方が効率が良いと考える。

Q)

- ・有資格者による継続的支援は無償では難しいか?

A)

地域未来塾は文科省が促進している事業なので国からの補助金も出ている。

使用目的には指導者への謝金も含まれている。

Q)

- ・利用する子どものニーズ(人数)をどのくらいと想定しているか?

A)

他府県他都市で相当数の教室があることからニーズがあるのは明らか。

文科省は2019年までに5000中学校で設立することを目標に掲げている。

⑥地域公民館を活用しての音楽イベントツアー

【課題抽出】

- ・発案委員より各課題についての説明を行い共有した。

【質疑応答】

Q)

- ・演奏だけを想定しているのか?ダンスや演劇も考えているか?
- ・訪問する地域に協力頂く形というのは問題があるか?

A)

音楽演奏の他、マジックショーや地元幼稚園児の演技や高齢者施設利用者の発表会など、いろんな可能性を考えている。

ステージイベント以外にも地域福祉のPRブースなどの設置も考慮に入れている。

Q)

コロナ対応はどうするか？

A)

コロナ感染症対策としてイベント自粛が望まれる期間には開催しない

Q)

・不測の事態で機材などが破損した場合はどうするか？
新たに購入するべきではないか？

A)

・予算の与えられた事業ではないので基本的に個人持ち出しで考える。

Q)

・町内会への回覧板は全市で何部必要ですか？
(新林の例:140・ポスター6)回覧板ポスターはお金がいりますか？
・回覧板やポスターは費用がかかりますか？

A)

回覧板は全市でなく対象地域のみで十分と考える。
まずは公民館を自治している区長などをお願いすることを考える。

Q)

・駐車場は何台必要と想定していますか？(来場者は徒歩として)

A)

委託するボランティア演者用に6～8台を想定している。
施設利用者等をゲストに迎える場合、ハイエースクラス2台は想定する必要がある。

Q)

・現在出演依頼できそうな団体はどのくらいありますか？
また、市外のボランティアは想定外ですか？

A)

市内外の個人や団体を想定し、声掛け対象は50組くらいなら可能。

【ご意見】

地域密着型のイベントは、後期高齢者に喜ばれる事業であり、「笑い」は「元気」のもとになり、町内会単位の事業なので、協力も得られやすく共感も呼びやすい。
町内や市内の事業を一緒にPRすることで、利用者のサービス利用促進にもつながるので、利点の多い事業といえる。

[補足]

まちづくり委員会が1年任期であることを考慮すると全ての地区への展開は難しい。(別途、実行委員会の設立が必要)
令和3年度まちづくり委員会のテーマとしてはパイロットモデルとしての開催にとどめ、実行までの手法を研究成果とする。

⑦市民まちづくりフェスの開催

【課題抽出】

・発案者自身にてテーマ取り下げ
(課題整理をしたところ、内容的に現状のまちづくり委員会のポテンシャルでは困難と判断)

【質疑応答】

・なし

⑧子どもたちの学び合い教室

⑨地域の〇〇達人登録

⑩近隣の市民ボランティア団体との交流会

		【課題抽出】 ・課題説明に至らず。 (発案者より「自身の案は取り下げ、他の委員の発案案件に力添えをしたい」との申し出) 【質疑応答】 ・なし
決 定 事 項		(1)10テーマ中、提案取り下げ6件 【取り下げ案件名】 ①かきつばたの保存活動 ④まちづくり委員会のあるべき姿の構築 ⑦市民まちづくりフェスの開催 ⑧子どもたちの学び合い教室 ⑨地域の〇〇達人登録 ⑩近隣の市民ボランティア団体との交流会 (2)再協議案件2件 ②マルシェの開催(発案者欠席のため) ③知立伝統遺産の周知活動(課題認識の再調整) (3)課題認識案件2件 ⑤地域未来塾のようなシステムの構築 ⑥地域公民館を活用しての音楽イベントツアー (4)今後の委員会予定 予定を早く知っておきたいとの意見により、年間計画を全委員に配信した。 ※次回日程:6月29日(火)18:30～19:50 知立市中央公民館2階中会議室
課 題		欠席・遅刻等がありましたら、連絡をお願いします。
次 回 の 議 題		・再協議案件の課題共有化 ・活動テーマの決定